

○フロントヤード改革調査業務公募型プロポーザル評価項目

評価対象項目	配点	評価の観点
1 目指すべきフロントヤード像の企画・検討	1,060	
(1) オムニチャネル化	320	
①酒田市の総務省への提案内容への理解	40	酒田市の総務省への提案内容を十分に理解した提案であるか ※酒田市の総務省への提案内容を満たさない場合は失格
②酒田市の総務省への提案内容に追加して提案された内容が魅力的か	20	酒田市の総務省への提案内容を踏まえて現実的な追加提案があるか 追加提案内容を実現した場合の酒田市の負担（費用及び職員の業務負担）を考慮されているか
	20	酒田市の総務省への提案内容を踏まえて市民の利便性向上と職員の負担軽減につながる追加提案があるか
③オムニチャネル化の企画検討手法	40	次年度以降に酒田市が自立的に実施できるような工夫があるか （研修、eラーニング、マニュアルの整備など）
	80	企画検討手法は、事業目的に対して効果的で実現可能なやり方・スケジュールでの提案となっているか ※スケジュールが3月末を超える場合、明らかに無理があると判断された場合は失格
	40	企画検討にあたってサービスデザインの観点で工夫のある提案であるか
④オムニチャネル化の企画検討手法	80	企画検討にあたって委託事業者と酒田市職員の役割分担が明確かつ、酒田市職員の負担が少ない検討手法となっているか
	40	企画検討にあたって委託事業者と酒田市職員の役割分担が明確かつ、酒田市職員の作業負担が少ない検討手法となっているか
	80	企画検討にあたって委託事業者と酒田市職員の役割分担が明確かつ、酒田市職員の作業負担が少ない検討手法となっているか
(2) バックヤード改革の企画検討	420	
①酒田市の総務省への提案内容への理解	40	酒田市の総務省への提案内容を十分に理解した提案であるか ※酒田市の総務省への提案内容を満たさない場合は失格
②酒田市の総務省への提案内容に追加して提案された内容が魅力的か	20	酒田市の総務省への提案内容を踏まえて現実的な追加提案であるか
	40	酒田市の総務省への提案内容を踏まえて職員の業務負担軽減や省力化につながる追加提案があるか
③バックヤード改革の企画検討手法	80	次年度以降に酒田市が本事業のノウハウを活用し、自立的に他の手続き等のバックヤード改革を推進できるような工夫があるか（研修、eラーニング、マニュアルの整備など）
	40	企画検討は、効果的で実現可能なやり方・スケジュールでの提案となっているか ※スケジュールが3月末を超える場合、明らかに無理があると判断された場合は失格
④徹底的なBPR	40	企画検討にあたって委託事業者と酒田市職員の役割分担が明確かつ、酒田市職員の作業負担が少ない検討手法となっているか
	80	バックヤードの徹底的なBPRの実施内容及び成果物は、オムニチャネル化や継続的な改善（BPRのテンプレート化、研修による職員を行いながら進めるなど）を行うために十分な内容の提案であるか
④徹底的なBPR	80	BPRの実施手法は、委託事業者と酒田市職員の役割分担が明確かつ、酒田市職員の作業負担が少ない検討手法となっているか
	80	BPRの実施手法は、委託事業者と酒田市職員の役割分担が明確かつ、酒田市職員の作業負担が少ない検討手法となっているか
(3) 継続的な改善の企画検討	320	
①酒田市の総務省への提案内容への理解	40	酒田市の総務省への提案内容を十分に理解した提案であるか ※酒田市の総務省への提案内容を満たさない場合は失格
②改善方針は魅力的か	80	次年度以降に酒田市が自立的かつ継続的に改善することを踏まえた提案となっているか（研修、eラーニング、マニュアルの整備など）
	80	データ取得の自動化や省力化等改善サイクルを回すための職員負担の軽減に資する提案となっているか
③データの利活用	20	酒田市の総務省への提案内容を踏まえたデータ取得・分析方針であるか。 ※酒田市の総務省への提案内容を踏まえていない場合は失格
	20	酒田市の総務省への提案内容を越えたデータ分析の提案がある場合には、そのデータ分析の目的が酒田市の目指すフロントヤード像に合致しており、フロントヤードの継続的な改善に資する分析であるか。
④継続的な改善の企画検討手法	40	企画検討は、事業目的に対して効果的で実現可能なやり方・スケジュールでの提案となっているか ※スケジュールが3月末を超える場合、明らかに無理があると判断された場合は失格
	40	企画検討の手法は、委託事業者と酒田市職員の役割分担が明確かつ、酒田市職員の作業負担が少ない検討手法となっているか
2 実証事業実施支援	120	
(1) システム導入及びサービス提供支援	80	企画検討内容を実現するためのシステム導入やサービス提供にあたり、既存ベンダーや酒田市が別に契約するベンダーとの全体調整が十分にできる体制（既存ベンダーとの役割分担方針、提案者の運用要件整理の経験や知見を含む）が提案されているか
(2) 実証支援	40	委託事業者と酒田市職員の役割分担が明確かつ、市民負担や酒田市職員の負担が少ない支援体制が提案されているか

3	事業全般に関する事項	170	
	(1) スケジュール	10	期限内での遂行が可能である ※期限内で事業完了できない、現実的でないスケジュールである場合は失格
	(2) 進捗管理	10	事業の進捗管理方法が適切である ※適切でないと判断される、進捗管理を行わない場合は失格
	(3) 資金計画	10	予算内での計画が提示されており、酒田市からの委託費の支払いが事業完了後の支払いとなることを前提に事業実施可能な資金計画となっている ※事業実施不可能と判断される資金計画の場合は失格
	(4) 実施体制	20	これまでに事業に関連する調査経験がある、職歴がある方・組織が参加する等、魅力的な実施体制である（特に、BPR支援の経験、窓口効率化の経験、行政のネットワークやシステムに関する知見、サービスデザインに関する知見などを重視する。）
		40	オムニチャネル化するサービス全体を俯瞰してサービス企画・業務の見直し・システム導入などを行うことのできる体制であるか。
	(5) 本事業の目的を達成するために有効な追加	80	上記の評価項目によらない有効な追加提案があるか
4	提案金額	150	
		150	
	合計	1,500	